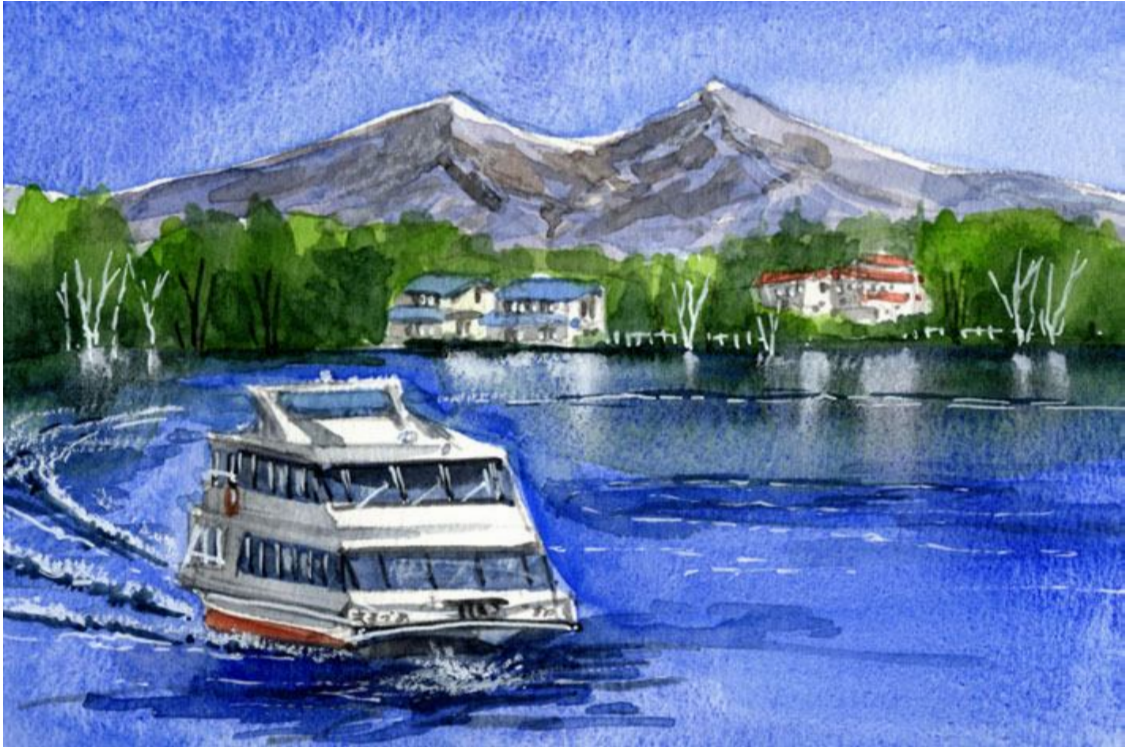


裏磐梯の檜原湖は1888年(明治21年)に起きた磐梯山の大噴火によって誕生しました 磐梯山は大規模な山体崩壊を起こして中心部を北側が崩落し 現在のような双耳峰の形になりました 押し流された山体は現在でも「流れ山」として 檜原湖の湖岸線や湖底に多数残っています 従って湖底の地形は非常に複雑ですが 遊覧船の操縦士さんはその湖底地形を知り尽くしています 島と島の中の狭い水路をすり抜けるように進み 乗客を楽しませてくれました この遊覧船が廃業になったとは にはわかには信じられません この船の中で大勢の仲間と絵を描いたのが 昨日のこのようです



これが完成した絵です



1、磐梯山は浅間山と同じ若い火山なのですが 描き勝手がまるでちがいます 色も谷の様子も なかなかうまく描けません



2、対岸の山荘は あまり目立たないように描きます しかし湖面への反映は 重要な要素です



3、白樺の反映も やや大きめに描いておきます 対岸に近い湖面は思い切り暗くしておいたほうが効果的です



4、主題の遊覧船は 右側から光線が当たっていると意識して描きます 影は先に描いておいたほうが 描きやすいと思います



5、舳先がつくりだす波しぶきは 白の「パステル鉛筆」で描きました



6、船体のつくる航跡の波も 白のパステルで描き その後少し影をつけました しかし ややわざとらしくなってしまった気がします